

授業概要

授業では、①金融取引や証券市場の仕組み、②株式や債券など証券の発行市場と流通市場の概況、③投資信託の仕組みや流通市場などを具体的な事例に学んで、その意義と役割を理解します。資金調達と資金運用の両面から証券市場にアプローチし、内外でグローバル化する企業と投資家、証券市場の動向とその課題を考えます。

授業計画

第1回	講義のガイダンス	～証券取引の始まりを知る～
第2回	金融・証券市場について	
第3回	株式市場について	(1) 概要
第4回	//	(2) 発行市場 その仕組み
第5回	//	(3) 流通市場 その仕組み
第6回	債券市場について	(1) 概要
第7回	//	(2) 発行市場 その仕組み
第8回	//	(3) 流通市場 その仕組み
第9回	投資信託について	(1) 概要
第10回	//	(2) 発行市場と流通市場 その仕組み
第11回	派生商品市場について	
第12回	グローバル化する投資家について	(1) 投資運用と投資判断
第13回	//	(2) 機関投資家の説明責任
第14回	グローバル化する証券市場	(1) 証券取引所の小史 (ビッグバンとその後)
第15回	//	(2) 証券市場の課題
第16回		

到達目標

私たちの暮らしで、金融・証券市場は大変重要な役割を果たしています。市場で決まる株価や金利・為替の水準は企業経営や政府の政策を大きく左右し、その影響は1人ひとりの暮らしに及びます。授業ではこうした金融・証券市場の基礎的な理解を目指します。

履修上の注意

授業では、内外の経済や金融・証券の動きが実例として取り上げられるので、日ごろから経済・市場関連のニュースに気を付けておきたい。株価や債券、為替など各市場の動き、指標や数字の意味をしっかりと理解したい。

予習復習

毎日変動する金融・証券市場の動向をしっかりと数字で追って、授業の内実をより確かにしたい。

評価方法

受講態度不良者は「不可」の評価とします。評価は授業への出席(40%)、授業中の議論(20%)、期中の複数回にわたるレポート(40%)などを総合的に判断し、評価します。そして講義への積極的な参加(積極的な発言など)によって加点します。

テキスト

授業向けに資料を用意し、必要な参照文献は、適宜、授業中に指示します。